

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第10回

乗客の生命が人質に取られている！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

連続追及
これでもあなたはJR東日本に乗れるか!?
悪質列車妨害と革マル派
西岡 研介

< 週刊現代 2006年9月25日発売号 >

連載以降、置き石、投石、発車ベルに接着剤などの事件が発生！

「7月30日に発生したJR八高線の置き石事件では、『障害物検知装置』に石を詰めた上に、装置の向きを変えるなどして、わざと『検知装置』を作動させ、列車に危険を知らせ、事故が起こらないように細工している。また8月8日には『スーパーあずさ30号』のドアが走行中に開閉した事件が起こっていますが、これも非常用ドアコックの動かし方に慣れていなければ、なかなかできない犯行です。犯人は間違いなく『列車の専門的な知識を持つ者』で、目的は、事故を起こすことではなく、JR東日本に対して何らかの『警告』を与えることだと思います」（JR東日本関係者）

『列車の専門的な知識を持つ者』が一体、何のために、どのような『警告』をJR東日本に与えようとしているのか、私に知る由もない。しかし、“彼ら”は間違いなく乗客の生命を「人質」に取り、かつその犯行をエスカレートさせているのだ。

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『悪質』列車妨害と革マル派」と題するこの記事は、JR東日本管内で一步間違えば大惨事に繋がるような悪質な列車妨害が頻発しているという恐るべき事態を明らかにしています。さらに信じられないことに、これらの列車妨害事件について、とんでもない「謀略論」を展開する集団があることです。その集団こそ、列車妨害事件の原因があたかも『週刊現代』の連載記事にあるかのような主張を展開する東労組であり「革マル派」なのです。

頻発する列車妨害になぜか被害届も出さないJR東日本！